

## ●自然体験⑨

マイ切り式火おこし (動画あり)

## 概要

マイ切り式火おこし器を使って、火おこしに挑戦しましょう。火がついた時の達成感は格別で、その火を使って炊事やキャンプファイヤーに発展させることができます

## 人数

・120名程度

## 対象

・3年生～

## 実施期間

・通年

## 所要時間

・60分～90分程度



## 活動場所

- ・屋内（多目的ホール、ホワイエ）
- ・屋外（くわの実広場）

## 指導のねらい

- ・昔の火おこしの方法を知り、先人の知恵や工夫を知るとともに火の大切さとありがたさを理解する
- ・どうすれば火が起こせるのかを試行錯誤する中で対話的な学びを促す

## 活動のながれおよび留意点

## 【事前準備】

- ① 火おこしの方法や留意点について調べる
- ② 起こした火をどのように活用するか考える

## 【当日】

- ① 方法は別紙Ⅰを参照
- ② ふりかえり

## 準備物品

## 【料金（必須）】

・マイ切り式火おこし料金 1人200円

## 【山の家で貸出可能なもの】

・マイ切り式火おこし器、火切板、芯棒、麻紐、はさみ、バケツ、ランタン、ろうそく、らんたん 等

## 【団体で準備するもの】

・軍手

## 備考

・マイ切り式火おこしでおこした火は、炊事やキャンプファイヤーで使用できます

## マイ切り式火おこし(方法・留意点)

### 方法

① 燃えやすくなるように麻紐をほぐす

・麻紐はできるかぎりふわふわに



② 紙の上に火切板を置く



③ 火おこし器に芯棒を差し、火切板の溝にセットする



④ 火種ができるまで、火おこし器を動かし続ける

・交代するときに、途中で動きを止めないようにする



⑤ 動かし続けると木くずが出て、煙が出てくる



⑥ 赤い火種ができたら麻紐に火種を移す



⑦ 火種を麻紐で包み込むようにして、息を吹く

・息は優しく、長くがポイント



⑧ 着火したら、火をろうそくに移してから、らんとんに移す



### 留意点

・ やけどをしないよう、軍手をはめて実施する